



しおかぜ通信

学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R7,7,4 No,12

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



郡築小ホームページ

研究授業を行いました

6月25日(水)、4年1組で研究授業を行いました。今年度のよりよい授業づくりに向けた校内研修のテーマは、「『自ら学ぶ子供の育成』～生徒指導の4機能を生かした授業づくりによる自己教育力の高まりを通して～」です。このテーマのもと、子供たちが学ぶ必要感をもって主体的かつ意欲的に活動する授業を目指しています。

そして、その実現のために「①子供が学ぶ意欲をもつ課題設定の工夫」、「②子供が学びを深める学び合いの工夫」、「③子供が今後の学びに生かす振り返りの工夫」、「④生徒指導の4機能を生かした教師の働きかけ」の4つの視点に沿った授業づくりを推進しています。



放課後に行った全教職員による授業研究会では、この4つの視点に沿って授業を検証し、改善策等を練りました。今後もこのような取組を重ね、よりよい授業づくりを進めていきます。

郡築汐風学校づくり協議会を開催しました

6月26日(木)、「郡築汐風学校づくり協議会」を開催しました。当日は、水田会長様をはじめ10名の委員の皆様にご来校いただき、委嘱状の交付及び今年度の学校運営に係る説明、授業参観、意見交換などを行いました。そして、今年度の学校運営についてご承認をいただきました。



今後とも「地域の宝である子供」の豊かな人格の形成に向け、地域と保護者と学校と行政が一体となって取り組んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

PTA図書委員の皆様に読み聞かせをしていただきました

7月3日(木)の朝自習時間に、PTA図書委員の皆様による読み聞かせがありました。どの学級の子供も興味津々な表情で目を輝かせながら聴き入っており、読み聞かせを好む子供の多さを改めて感じました。ご多用の中また猛暑の中にわざわざおいでいただいた方々に心より感謝申し上げます。



読み聞かせには、子供の言語能力や認知能力の発達、想像力や集中力の向上、情緒の安定、また、親子間のコミュニケーションの促進などに効果があると言われています。今のところ読み聞かせされていないご家庭におかれましては、このように多くの効果がある読み聞かせをおすすめします。

多くの子供が気持ちを切り替えて登校しています

「襟を正す」ということわざがあります。これは、「服装や姿勢をきちんと整えるだけでなく、気持ちを引き締めて真剣な態度で物事に取り組む」という意味があります。また、「服装の乱れは心の乱れ」ということわざもあります。これは、「その人の心の状態や生活態度が乱れていることを反映している、あるいはそのように見なされる」という意味です。逆に言えば、「服装を整えることで心の状態も整う」ことを表しているとも言えます。

本校では、服装などの乱れを単に見た目の問題としてだけでなく、心の状態や生活態度に繋がるものとして、学校総体で整えるように奨励しています。

本校の子供たちの多くは、標準服の着こなしや髪型、持ち物などが整っていて、意識の高さを感じます。これからも学ぶ場である学校に登校するときには、名札をつけたり、シャツのすそをズボンに入れたり、長い髪は一つもしくは二つに束ねたりして、気持ちを切り替えて登校し、大いに自分を磨いてほしいと思います。

「子育て」一口メモ

「時間を置く」

言葉というのは、耳に入ってから、脳に届くまで、かなりの時間がかかる。相手が子供なら、なおさらである。だから言うべきことは言いながらも、効果はすぐには求めない。また、言ったからといって、それすぐ、問題が解決するわけでもない。コツは、言うべきことは、淡々と言いかがらも、あとは時間を待つ。短気な親ほど、ガンガンと子供を叱ったりするが、子供はこわいから、おとなしくしているだけ。反省などしていない。

幼稚教育家 はやし浩司